

# 山行報告書

報告書作成

2009年3月31日

山名 [山域]	野伏ヶ岳(1674m)[奥美濃]	目的と方法	純白の白山展望
登山期間	2009年2月28日(土)～3月1日(日)	山行形態	テント泊(ベースキャンプ方式)
参加人数	9人		

## 行動記録

/28(土)河合池運動公園(5:00) = 豊田東IC(5:05) = 白鳥IC(7:15) = 登山口P(8:15, 9:05) = 石碑(11:40) = 和田山牧場跡BC(12:20)

3/1(日)

和田山牧場跡BC(6:10) = 北東尾根乗越(6:55) = 野伏ヶ岳(9:10, 10:20) = 和田山牧場跡BC(12:15, 13:20) = 登山口P(15:00) = 満天の湯(15:30, 17:00) = 郡上八幡IC(18:05) = 豊田松平IC(19:30) = 河合池運動公園(19:50)

## 概念図



## 日誌

スキーシーズンだが渋滞の影響も特に受けずに登山口に到着。石徹白川を渡って対岸の林道を登り始める。

途中の斜面にはフキノトウが早々と顔を出していたが、全部摘み取られてしまっていた。この日は非常に天候に恵まれ、我々とは逆に野伏からスキーで下ってきた人達も皆満足そうであった。昼過ぎに和田山牧場跡に到着し、テント設営。大掛かりなトイレも二つ完成した。夕食兼宴会が終了した後、テントの外に出て美しく輝く月や星を眺める。しかしながら翌朝は曇天。新雪を黙々と踏んで北東尾根をひたすら登る。山頂直下の合流点ではダイレクト尾根から別のパーティーが登ってきた。前後して野伏ヶ岳の山頂に至る。着いた時点では殆ど何も見えない状態だったが、不思議に雲が切れ始め、待つうちに360度の眺望が得られるまでになった。満足した帰りはペースも上がり、ダイレクト尾根をシリセードで下る。テントを撤収して更に下ると下界付近では既に雪が殆ど溶けていた。

## 感想

簡易ハーネスの装着など教えていただきました。幸い天候に恵まれた山行ばかり続いてますが、悪化した場合に備えて読図等も確実に身に付けておきたいと思います。